



# 市議会 だより

city  
assembly  
report

Vol. 33

おもな内容

- 特集／正副議長・挨拶 2～3
- 議案審議 4～5
- 常任委員会報告 6～8
- 代表質問 9～11
- 一般質問目次 12
- 一般質問(14名が問う) 13～17
- 特別委員会報告 18
- 組合議会報告 19
- こうか再発見 Vol.5 20



成人式 (1月13日)

# 開かれた議会をめぐり

## 分権時代にふさわしい

### 議会をめぐり

議長 村山 庄衛



新しい年がスタートしました。市民の皆様には、気分新たに新年をお迎えのことと思います。昨年は甲賀市におきましては大きな災害もなく、市政においても発展への基礎固めができました。一方国政においては、デフレから脱却できず政局は混迷し、年末の総選挙で、自民党・公明党による政権運営となりました。今度こそ「国民に信頼される政治」を期待するところです。

政権が変わっても分権改革への加速はとまることはないと考えます。それに伴って全国自治体では「議会改革」への動きが活発化しています。議会運営の改善、議会機能の強化、住民とのコミュニケーション強化などが共通の課題であり、その前提として議員意識の変革、資質の向上が求められています。甲賀市においても「議会基本条例」の制定をステップとして議会の存在感と信頼性を確立していかなければなりません。しかし、一般質問における一問一答や委員会の公開などの取り組みを進めておりますが、現状はまだ試行錯誤の段階であります。当面は市民の皆様と議会の接点としての議会広報の充実が議会改革の中でも重要な分野であると認識し、本年も市民の皆様と議会の情報を的確に報告するよう努めます。

## 飛躍の年に

副議長 中島 茂



初春の良き日を迎え謹んで新年のお喜び申し上げます。

昨年は選挙の年でありました。国際的には米国の大統領、中国の国家主席、韓国大統領、日本の首相と続き、甲賀市に於いては中嶋武嗣氏が市長に再選され、3期目のスタートとなりました。

国も地方も大きく変化をしていく中で多くの課題を解決するために、自治体の力を蓄える必要を感じるところです。甲賀市においては、一昨年から本格的に取り組みが進められた自治振興会は地域に於ける課題に、取り組みが進められており、徐々に市民の基礎的な力が発揮され、自助、共助の方向が見えてきたと考えられています。

地域情報基盤整備事業も昨年より事業化が進められています。3・11東日本大震災から急がれる甲賀市の防災対応や、市内全域の通信、インターネット等基礎的情報通信への取り組みは、音声告知を先駆けて進められています。

市税確保の点から産業の活性化や新たな工業用地の確保についても取り組みが始まっています。躍進する甲賀市を目指して市民の皆様への期待と議長を支える立場から全力で努力して参ります。皆さまにとって良い年でありますように。

## 産業建設常任委員会



- 委員長 土山 定信
- 副委員長 橋本 恒典
- 委員 森嶋 克巳、小松 正人、伴 資男、岩田 孝之

## 文教常任委員会



- 委員長 拙 藤男
- 副委員長 田中 新人
- 委員 加藤 和孝、野田 卓治、安井 直明、今村 和夫、服部 治男

## 民生常任委員会



- 委員長 的場 計利
- 副委員長 小西 喜代次
- 委員 鶴飼 勲、木村 泰男、中島 茂、橋本 律子

## 総務常任委員会



- 委員長 中西 弥兵衛
- 副委員長 葛原 章年
- 委員 山岡 光広、谷永 兼二、辻 重治、白坂 萬里子、石川 善太郎

# 議会で審議したもの

人事・条例・補正予算・財産の取得・処分 ほか

## 指定管理者指定議案一覧表

施設名	指定管理者	指定期間
水口児童クラブ	特定非営利活動法人 わくわくキッズ	平成25年4月1日から 平成28年3月31日まで
綾野児童クラブ		
貴生川児童クラブ		
貴生川第2児童クラブ		
伴谷児童クラブ		
伴谷東児童クラブ		
柏木児童クラブ		
土山かしきや児童クラブ		
大野児童クラブ		
油日児童クラブ		
信楽児童クラブ	信楽児童クラブ保護者会	
甲賀市野洲川児童公園	日本観光開発株式会社	
甲賀市甲賀歴史民俗資料館	甲賀地域歴史資料保存会	
甲賀市東海道伝馬館	特定非営利法人 歴史の道東海道宿駅会議	
甲賀市甲賀体育館	財団法人 甲賀創健文化振興事業団	

◆一般会計補正予算  
(第3号)  
・衆議院議員総選挙及び  
最高裁判所裁判官

### 専決処分

国民審査の執行に伴  
う追加  
(全員賛成で承認)

## 意見書の可否

○：可決 ●：否決

意見書案第30号	少人数学級の実現及び平成25年度教育予算の確保、義務教育費国庫負担制度の堅持、拡充を求める意見書の提出について	○
意見書案第31号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書の提出について	○
意見書案第32号	次代を担う若者世代支援策を求める意見書の提出について	○
意見書案第33号	防災・減災体制再構築推進基本法(防災・減災ニューディール基本法)の制定を求める意見書の提出について	○
意見書案第34号	牛海綿状脳症(BSE)の米国産牛肉の輸入緩和に反対する意見書の提出について	○
意見書案第35号	活断層の疑いのある原発は直ちに停止することを求める意見書の提出について	●
意見書案第36号	被災者本位の復興予算配分を求める意見書の提出について	●
意見書案第37号	米犯罪の根絶を求める意見書の提出について	●

※可否同数のため議長裁決により否決

# 条例、補正予算など68議案を審議

第5回甲賀市議会12月定例会は11月21日から12月17日までの27日間にわたり開催され、人事8件、条例18件、補正予算4件、財産の取得・処分7件、意見書8件、その他23件について審議しました。結果については次のとおりです。

### 人事

◆公平委員の選任  
青木 孝徳氏  
(信楽町)  
(全員賛成にて同意)

◆人権擁護委員の推薦  
豊田 いづみ氏  
(信楽町)  
前田喜志江氏  
(土山町)  
片山 澄子氏  
(土山町)  
福山 芳夫氏  
(土山町)  
(以上4件について  
全員賛成で適任)

◆教育委員会委員の任命  
山本 佳洋氏  
(甲南町)  
今井 智一氏  
(信楽町)  
(以上2件について  
全員賛成で同意)

### 監査委員の選任

山本 哲雄氏  
(甲南町)  
(全員賛成で同意)

### 条例制定

◆ひと・まち街道交流館条例

◆移動等円滑化のため  
に必要な特定公園施設  
の設置に関する基準  
を定める条例  
◆市道の構造の技術的  
基準を定める条例  
◆市道に設ける道路標  
識の寸法を定める条  
例

◆移動等円滑化のため  
に必要な市道の構造  
に関する基準を定め  
る条例  
◆水道の布設工事監督  
者及び水道技術管理

### 者に関する条例

◆地方公営企業法の適  
用事業における利益  
及び資本剰余金の処  
分等に関する条例  
◆図書館振興北村昭三  
基金条例  
(以上8件について  
全員賛成で可決)



ひと・まち街道交流館予想図

◆道路占用料徴収条例  
の一部を改正する条  
例  
(賛成多数で可決)

### 条例の一部改正

◆都市公園条例の一部  
を改正する条例  
◆下水道条例の一部を  
改正する条例  
◆農業集落排水施設条  
例の一部を改正する  
条例  
◆職員の共済制度に関  
する条例の一部改正  
◆甲賀市コミュニティ  
センター条例の一  
部を改正する条例  
◆暴力団排除条例の一  
部を改正する条例  
◆廃棄物の処理及び清  
掃に関する条例の一  
部を改正する条例  
◆市営住宅条例の一部  
を改正する条例  
◆証人等の実費弁償に  
関する条例の一部を  
改正する条例  
(以上9件について  
全員賛成で可決)

### 補正予算

◆一般会計補正予算  
(第4号)  
・災害復旧経費、水口  
綾野児童クラブ設計  
委託料の追加、障害者  
扶助費、新甲賀病院  
開院に向けたコミュニ  
ティバス2台の購入補  
助等。  
◆介護保険特別会計補  
正予算(第2号)  
◆公共下水道事業特別  
会計補正予算(第2  
号)  
◆農業集落排水事業特  
別会計補正予算(第  
2号)  
(以上4件について  
全員賛成で可決)

### 財産の取得

◆鳥獣侵入防止柵資材  
購入(その6)  
(信楽地域内)  
契約金額  
1,266万3千円  
契約の相手方  
ミドリ建設株式会社  
(全員賛成で可決)

### 財産の取得の変更

◆鳥獣侵入防止柵資材  
購入契約変更5件  
(全員賛成で可決)

### 財産の処分

◆甲賀コミュニティ  
センター(甲賀町鳥  
居野)  
(全員賛成で可決)

### 議決

◆指定管理者の指定  
15件全てこれまでの  
指定が継続されま  
す。(別表参照)  
◆訴訟事件の和解  
・市立貴生川保育園・  
幼稚園廃止の取り消  
しを求める訴訟の和  
解。  
◆控訴の提起  
・損害賠償請求事件に  
ついての控訴。  
◆その他議決5件  
(以上22件について  
全員賛成で可決)

## 臨時会

11月2日

平成24年第4回臨時会は11月2日に開催され、人事1件、財産の取得3件の審議と議事人事の改選を行いました。

### 人事

◆監査委員の選任  
野田 卓治  
(全員賛成で同意)  
◆選挙管理委員会委員  
の選挙(4名当選)  
奥村美津代(水口町)  
松山 仁(土山町)  
平尾 照子(甲賀町)  
杉本喜久雄(信楽町)

### 議会人事

正副議長  
議長 村山 庄衛  
副議長 中島 茂

### 財産の取得

◆消防積載車購入  
(13台)  
契約金額  
3,003万円

契約の相手方  
(株)奥山ポンプ商会  
栗東営業所

◆鳥獣侵入防止柵資材  
購入(その4)  
(水口・土山・甲賀・  
甲南地域内)  
契約金額  
1,543万5千円  
契約の相手方  
甲賀広域小規模産業  
振興事業協同組合

◆鳥獣侵入防止柵資材  
購入(その5)  
(信楽地域内)  
契約金額  
1,779万円

7,500円  
契約の相手方  
甲賀広域小規模産業  
振興事業協同組合  
(以上3件について  
全員賛成で可決)

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

### 民生常任委員会



**【議案第202号】 甲賀市の地方公営企業法の適用事業における利益及び資本剰余金の処分等に関する条例の制定について**

本条例は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(以

下地方分権一括法という)施行により、地方公営企業法の一部が改正され、利益や資本剰余金の処分並びにその方法を定めるための条例制定です。

次の4事業に適用されます。

- (1) 甲賀市診療所事業
- (2) 甲賀市介護老人保健施設事業
- (3) 甲賀市水道事業
- (4) 甲賀市病院事業

水道事業が、産業建設常任委員会所管であることから、主たる付託委員会を当民生常任委員会と定め、産業建設常任委員会との連合審査会を開催し審査しました。主な質疑は次のとおりです。

#### 付託議案

### 地方公営企業条例制定 市公営事業関連議案「連合審査会」で審査

当委員会に付託されました条例制定2議案について、12月12日委員会を開催し、執行部に資料の提出と詳細な説明を求め慎重に審査しました。

**Q/経営の自由度が増すとされているが**

新条例制定の理由において、法の趣旨は地域の自主性がうたわれているが、それぞれの会計にどのような影響が考えられるか。

**A/旧水口市民病院の欠損金の一括処理をする**

信楽中央病院会計に含まれる旧水口市民病院の欠損金4億8、200万円を、旧水口市民病院分資本剰余金8億で補填し、一括処理を考えている。

水道事業については条例に沿った処理を行い、独立採算でやっていく中で、自己責任が拡大し、組織の意志決

定の迅速化・説明責任も更に必要となってくる。

総務省HPより「資本の分類」の中で、資本とは資本金と剰余金に分類され、剰余金は資本剰余金と利益剰余金となり、その資本剰余金の処分等について今回制定の条例で定めていくとの答弁がありました。

以上で連合審査会を終了し、民生常任委員会に議決に至る手続きに入り、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

**【議案第206号】 甲賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正**

本条例は、地方分権一括法の施行による廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、市が設置する一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格の水準を定めるため、条例の一

**Q/技術管理者の資格とは**

廃棄物の処理には、様々な知識や技能が求められるが、本条例ではどの程度を想定されているのか。

**A/財日本環境衛生センターの資格取得等**

環境省令の感染性産業廃棄物以外の特別管理産業廃棄物を生ずる事業場の8項の規定に準ずる。

環境基準に該当する項目については業者委託により水質検査など各種検査を実施。測定証明書が発行されている。

#### ※注 連合審査会

案件の付託を受けた委員会が、他の関連する委員会と合同で審査のため会議を開くこと。連合審査会が開かれる場合にあっては、案件に対する意志決定の権限は付託された委員会にあるので、討論・採決はその主たる委員会(今回は民生常任委員会)で行なわれる。連合審査会は、議案説明、質疑まで行なわれる。



信楽不燃物処理場

市行政推進の中核を担っている委員会です。

### 総務常任委員会

#### 所管事務調査

### 甲賀市総合計画の改訂及び新市建設計画の変更について

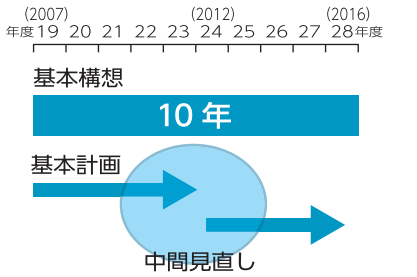
当委員会は12月20日に、甲賀市総合計画の改定と新市建設計画の見直しの件について慎重に審査しました。

**甲賀市総合計画の改訂(後期基本計画策定)**

平成19年3月に策定した「甲賀市総合計画」では、市の将来像を「人自然輝き続けるあい甲賀」と定め、その実現をめざし基本計画に基づいた市政運営が進め

られました。しかし平成19年の策定後に変化した社会潮流や市民ニーズを分析し、中間年次を迎えた今回「持続可能な市政運営」を確立するための有効な施策を再構築しようとするものです。「総合計

画」は基本構想と基本計画で構成されており、基本構想の期間は平成19年度から平成28年度を目標とする10年間となつていきます。しかし現行の構想は「新市建設計画」を踏まえた上で策定されており、基



本構想の見直しはされません。このため、構想実現に必要な施策の体系と方向を示す「基本計画」については、策定から5年が経過し

た時点で本市を取り巻く環境の変化をふまえて見直し、修正が行われます。現在19名の委員で構成される「総合計画策定審議会」で審議中であり、パブリックコメントを経て2月上旬に市長へ答申される予定です。

**「新市建設計画」の変更について**

平成15年7月に、旧合併協で承認された「新市建設計画」においては、今回東日本大

震災の結果、合併特例債の発行期間が延長されたことに対応し財政計画の延伸が認められ、危機管理機能の更なる強化を図るため、新市建設計画の「主要事業の概要」欄に「庁舎整備」を明記するものです。今後は変更(案)の知事事前協議や、パブリックコメントを経て知事正式協議、議会議決の後、平成25年3月頃公表される予定です。

#### 付託議案

### 図書館振興北村昭三基金条例を審査

当委員会は、12月12日に委員会を開催し、執行部に説明を求め慎重に審査しました。

**甲賀市図書館振興北村昭三基金条例の制定について**

信楽町出身で図書館利用者であった故北村昭三氏の遺言による寄付金を基に、図書館活動の振興を図るため、基金条例を新たに制定

しようとするものです。寄付金は約2億6千万円で、5図書館の図書購入や貸し出しにかかる環境整備経費、図書館設備の充実、家庭教育子育て支援のための読み聞かせや障害者支援などの読書活動推

進経費、学校や地域巡回の移動図書館整備などに毎年予算化し運用益でより長く執行できるよう努める。北村文庫としてしっかり管理しなければならぬ等の意見も出され審査の結果、全員賛成で原案



の通り可決すべきものと決しました。

#### 所管事務調査

### 小学校特認校制度について

10月17日に委員会を開催し執行部より説明を受けました。

甲賀市で考えている特認校制度については、特色ある教育の実践に取り組んでいる児童数の少くわめて少ない小学

校を対象としており、山内、鮎河、甲南第三、朝宮、多羅尾の5つの小学校を対象とし、通学区外からの通学が可能になる制度です。

# 各会派による 代表質問

目次  
平成24年11月21日

## 平成24年 第5回甲賀市議会定例会代表質問

順番	氏名	会派名	質問事項
1	伴 資男	清風クラブ	1 中嶋市政3期目の施策全般について
2	白坂萬里子	公明党 甲賀市議団	1 市長のマニフェスト・5つのキーワード (守る・育てる・変える・創る・伝える)を問う
3	小松 正人	日本共産党 甲賀市議員団	1 国民を苦しめる国の重要問題について、市長の所見を問う
			2 2期8年間の市政運営にかかわっての問題点を指摘し、所見を問う
			3 市長選の結果とマニフェスト、所信表明について問う
4	今村 和夫	甲政クラブ	1 中嶋市政2期8年について
			2 所信表明について
			3 庁舎改修整備事業について
			4 特認校制度採用について
5	石川善太郎	正政会	1 平成24年10月14日に執行された甲賀市の市長選挙について
			2 3期目に向けての所信とマニフェストについて

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の様態をご覧いただけます。http://www.city.koka.lg.jp/  
 ◎傍聴のご案内  
 本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

## 付託議案

### 付託された9議案を審査

当委員会は、12月12日に委員会を開催し、付託された9議案について慎重に審査しました。

▼甲賀市ひと・まち街  
道交流館条例の制定について  
本条例は水口宿の拠点施設として、観光客の誘致と街道を中心としたまちづくりを目的とした施設の設置と管理基準を定めるため制定するものです。

委員会では市民へのPRや配置について質問があった他、水口宿としての一体感が必要との意見があり、全員賛成で可決すべきものと決しました。

▼甲賀市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例  
▼市道の構造の技術的基準を定める条例  
▼市道に設ける道路標識の寸法を定める条例  
▼移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例  
▼水道の布設工



▼市営住宅条例の一部を改正する条例  
本条例も地方分権一括法によるものですが、反対討論において、現在の市営住宅の環境を整備してから条例改正するべきではないかとの意見が述べられました。賛成討論では長寿命化を含め条例に期待していこうという意見があり、賛成多数で可決すべきものと決しました。

付託された議案の内8件は地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律（地方分権



## 所管事務調査

### (仮称)甲賀市景観計画、 県市道路整備計画について

10月23日、委員会を開催し、(仮称)甲賀市景観計画および滋賀県道路整備アクションプログラム・市道路整備プログラム・市道路整備基本計画について所管事務調査を行いました。景観計画とは景観法の手続きに従って定める景観まちづくりを進める基本的な計画で、甲賀市は平成24年4月1日をもって景観行政団体に移行しています。道路整備については平成23年度に将来20年間の道路整備の基本方針である「滋賀県道路整備マスタープラン」

が見直され、今年度は5年に一度の県道路整備アクションプログラムの見直しが行われています。今回はその進捗と市の道路整備計画について説明を受けました。

県道路整備アクションプログラムは3回の地域ワークショップを経て県議会に報告された後、策定されることとなります。



## 中嶋市政3期目の施策全般について

清風クラブ



伴 資男

問 「あいコム」への具体的支援策は。

市長 筆頭株主として定期的な連絡調整で連携を図る。市の未来を託す会社としての責任が果たせるよう厳しく見守り、軌道修正等が必要とあれば改革をも断行する。

問 庁舎改修整備事業の今後の進め方は。

市長 甲南庁舎の検討業務を発注。耐震性能の再計算や補強・改修工事設備更新の概算事業費等を調査。利活用方策を含めた技術的な検討を進めている。早い時期に新庁舎が完成出来るよう設計業務に入る考えである。

問 新甲賀病院へのコミュニケーションパスの運行は。

市長 JR貴生川駅から同病院までの直通便を新設、土山地域から直接新病院へ乗入れの一部、甲賀甲南地域は現行幹線を新病院まで延伸、市道山・松尾幹線を経由する便等、利便性の向上を図る。

問 市道名坂・本綾野2号線の改良工事について。

市長 協議に時間を要しているが、新病院への主要なアクセス道路から早期着工に向け取り組んでいく。

問 市道の補修や橋梁の補強対策について。

市長 区・自治会の要望事項の対応と主要幹線道路の大規模な路面修繕を優先。新設も優先度を定め推進。橋梁

長寿命化対策の詳細設計業務を進める。

問 高齢者や障がい者への助成制度の拡大は。

市長 給付対象物品を更に拡大と介護激励金の特別加算を検討。障害者3級の方の医療費助成の拡大を進める。

問 いじめ対策で教育委員会との連携は。

市長 園・学校教育の環境づくりと未来の「こども応援団」として役割を果たす。





### 代表質問

**問** 甲賀市中心市街地活性化について甲賀病院跡地利用の検討状況は。

**市長** 地域のご意見や市民の声に耳を傾けながら検討を進め、その意向を病院組合に提案していく基本姿勢に変わりはない。

遺跡試掘調査や解体撤去工事の完了まで最短でも2〜3年は必要となると予測されるので、もうしばらくは時間をかけ、総合的な観点から、市民とともに語り合いながら夢の実現可能な方向性を見出し、甲賀病院組合に提案していく。

**問** 一般会計当初予算ベース3%相当の財源確保を目標とされているのか。

**市長** 現在、開院に向けた具体的な改定作業を行っている。直通便の新設や広域線延伸など、利便性の向上に努め、市内どこからでもバスを使って病院に行くことを可能にし、市民の皆様へは3月中旬頃、路線やダイヤをお示しできる。

**問** 甲賀市中心市街地活性化について甲賀病院跡地利用の検討状況は。

**市長** 事業仕訳けの活用や時間外勤務の削減、市税や各種料金の滞納解消、未利用地の売却や有効利用、企業誘致をはじめとする自主財源の確保や、定員適正化計画に基づく人件費の抑制など、全庁あげて歳出削減と歳入確保に臨む。

**問** 所信表明において、市役所庁舎の在り方を

様々な角度から考察すると述べられているが、庁舎改修整備基本構想を最初から見直すのか。

**市長** 9月から甲南庁舎の検討業務を発注し、技術的検討を深める資料作成中である。基本構想は、水口庁舎の現状を踏まえ、早期に災害対策本部としての機能を確立し、市民の利便性向上などの課題を早期に解決して行く庁舎整備のあり方をまとめたものであり、求められる庁舎機能を全て確保できる庁舎規模及び事業場を想定している。この構想をベースとして議会や市民皆様のご意見を伺いながら、市の財政状況も鑑みながらさらに検討を深める。



現甲賀病院

**中嶋市政2期8年について**

甲政クラブ



今村 和夫

**問** 相手候補に寄せられた1万5,300票をどう受け止めているのか。

**市長** 選挙が執行される以上、100対0はあり得ず、支持を得られなかった票の中には色々な票も含まれていると理解しているが、決

まった以上は納得頂ける市政運営を行うことが使命である。

**問** 2期8年で財源確保に努力しながら実行した、行政組織や職員意識改革を3期目にどのように継続するのか。

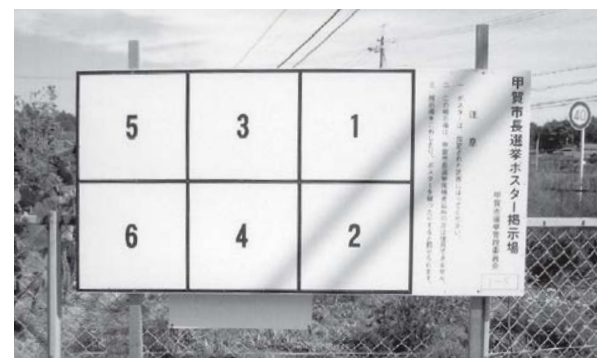
**市長** これまでと同様に、甲賀への熱い思いにあふれ、高い使命感を持ち、責任と役割を自覚して、自律的、自発的に行動できる自律型人材の育成及び、管理職をはじめとする職員の意識改革に継続して取り組む。

**問** 争点となった庁舎整備の方向性は。

近い将来に発生する可能性のある大規模地震を考えると、一日でも早い建て替えが必要であり、甲南庁舎の活用方策を検討するための基礎資料の作成を進めている。その結果を受けて議会や市民の理解を深め、最善な形で新庁舎の建築に取り組む。

**問** 公約の市役所組織パワーアップを図る方法とは。

**市長** 企業誘致や産業振興、税料金の滞納対策の強化等により財源を創出し歳入を確保し、歳出は、事業仕分けにより、制度仕組みを精査検証し、行政コストを抑制し、プライマリバランスの黒字化を維持する。



甲賀市選挙区（選挙区）

**市長選挙を問う**

正政会




石川 善太郎

### 代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

### 市長のマニフェストから所見を問う

公明党  
甲賀市議員団



白坂 萬里子

**問** 3期目の市長の権限を得られた今、地方の時代を、どう変え、どう開いていこうとしているのか。

**市長** 地域の自立を加速させ、持続可能な財政基盤の強化を図り、活力ある地方の時代にふさわしいまちづくりを進める。

**問** 新庁舎の整備についてはその時期に関心がある。市長の構想を伺う。

**市長** 耐震性のない庁舎で、市民の皆様の安全の問題や狭隘化や分散化などにおいても不便をおかけしている。合併特例債適用期限内のできる限り早い時期での事業完了を目指し、最善の形で進めたい。

**問** 4月開院に向けた

新甲賀病院へのバス路線のルートやダイヤ等の早期提示はできないか。

**市長** 現在、開院に向けた具体的な改定作業を行っている。直通便の新設や広域線延伸など、利便性の向上に努め、市内どこからでもバスを使って病院に行くことを可能にし、市民の皆様へは3月中旬頃、路線やダイヤをお示しできる。

**問** 高齢者にバス料金の運賃助成は早期に実



誰もが住み良い街に

施を。

**市長** 高齢者がより外出しやすい環境づくりのためにどのような方法がよいか検討する。

**問** 所得制限の緩和を図り、安心の子育てができるよう小中学生の通院医療費の無料化を。

**市長** 子育て応援団として、重要な役割であると考えており、前向きに検討していく。

**問** 住宅リフォーム事業の継続実施は拡充する考えはないか。

**市長** 大変好評をいただいている。2か年で約12億3千万円の経済効果に寄与するとともに、家電や調度品など二次的な経済効果も期待している。市内業者に限定し、本年度の予算規模で検討を進める。

**問** 市長としての指導者に求められる資質についての所見を伺う。

**市長** 生活者の視点で、当市の未来を見据え、信念を持って責任ある判断を下せること。

**問** 原発問題で当市は、福井原発群の80km圏域にある。「即時原発ゼロ」の姿勢を持つべき。

**市長** 産業活動や雇用環境の影響を極力少なくし、国の責任において判断されるべきもの。

**問** TPP（環太平洋連携協定）問題で、J Aとも連携し、シンポジウムなど実践的な行動を起こすべきでは。

**市長** 国内に大きな意見の違いがあり、国民的合意がない。地域が崩壊する危険があり、他の市長・町長とも連

携をとり、共に決然として対応していく。

**問** 2期8年の市政運営は、行政主導が強すぎる。本庁舎の建て替え計画など、もっと市民の声を聴き、今どうしてもしなければならぬのか。市政の進め方の基本はどうか。説明責任、市民の声が反映しているか。

**市長** 市民が主役であり、市民に満足と信頼を提供するサービス業であると考えている。市民の積極的意見は、スピード感を持って取り入れ双方方向のコミュニケーションを大切にしている。

**問** 特別養護老人ホーム増設の署名を市民と共にとりくみ要望した

が、計画はどうか。

**市長** 26年度までに、増床48床、新設60床、地域密着型の新設29床の計画を進めている。

**問** 小学生の広島平和記念式典の参加枠の拡大はどうか。（現在23名）

**市長** 来年度は拡大の方向で準備を始める。

**問** 住宅リフォーム事業の継続と手続き改善を。

**市長** 好評を頂き、地域に約12億3千万円の経済効果がでている。手続きの改善を図る。



広島平和公園

### 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**木村泰男 議員**

**Q** 行財政改革の推進か  
拡大路線か

**A** 行財政の安定の上  
発展・進化させる

**問** 施政方針では二期8年の間に安定期から発展期に移行したとされたが、職員訓示での混乱期はなかったのか。

**市長** 混乱期と安定期は分けられない。逡巡しながらも対応してきた。

**問** 三期目の進化の時は拡大政策か。

**市長** 財政規律に主眼を置き、先駆的・戦略的な施策で、市民の暮らしを豊かにする。

**問** 地域情報化事業の財源の7割は合併特例債。「あいコムコム」の収益事業にも特例債が適用できるのか。

**市長** 収益部分の大半は該当しないが、全体事業費は相当縮減できる。

**問** 合併特例債は合併協議会策定の「新市建



**山岡光広 議員**

**Q** 「生活援助」の  
時間短縮、影響は

**A** 調査し適正に努める

**問** 介護保険改正で在宅介護の柱「生活援助」の基本時間が短縮される影響が出ている。実態調査し改善するべき。

**健康福祉部長** 60分までが45分となった。国保連合会を通じて調査依頼中。適切な介護サービスが提供できるよう努めていく。

**問** ナラ枯れ被害が広がっている。実態調査と早期の対策を。

**産業経済部長** 市内では21年度から水口北部で確認、今日では全域に広がっており毎年夏に被害状況の把握に努めている。古木・名木



**産業経済部長** ため池台帳により把握しているが、日常管理は地元更新時期の必要性は認識している。ユスルベ池の修繕については、来年度の耕作に支障が生じないよう対応する。

**問** 情報基盤・音声が知の承諾状況は。共聴施設の移行は。

**総合政策部長** 水口81%、信楽87%。共聴の移行はその形態によって異なる。地元と説明・協議中。

**葛原章年 議員**

**Q** 六古窯災害応援協定に  
不参加の理由は

**A** 実効性のあるものとすべき

**問** 日本六古窯災害相互応援協定に甲賀市(信楽焼)は、なぜ参加しなかったのか、その経緯はどうであったのか。

**危機・安全管理統括監** 昨年の8月に篠山市から依頼があり、本年5月まで協議を続けたが協定内容をさらに実効性あるものとすべく時期尚早と判断した。

**問** 旧信楽町より長い間日本六古窯の陶器産地として、各市町が交流し、業界でも相互協力をしていくのに、災害時に助け合わないのは納得がいかない。

**危機・安全管理統括監** 災害応援協定の締結に関わらず、今後においても、窯業を中心に、産業や観光振興での繋がりを更に深めていく



5市町による調印式 7月5日  
日本六古窯災害時相互応援協定調印式

# 14人の議員が 市の考えを問う 一般質問

目次  
平成24年12月7日-10日-11日

## 平成24年 第5回甲賀市議会定例会一般質問

順番	質問方法	氏名	質問事項
1	分割	木村 泰男	1 中嶋市政3期目は行財政改革の推進か拡大路線か 2 信楽高校の存続と信楽高原鉄道
2	分割	山岡 光広	1 介護保険改正による生活援助の影響について 2 近年被害が広がりつつあるナラ枯れ対策について 3 ため池の維持管理について 4 地域情報基盤整備について
3	分割	葛原 章年	1 第1回甲賀市観光ビジネスメッセの成果と今後の課題と方向性を伺う 2 日本六古窯災害相互応援協定調印について、甲賀市(信楽焼)が不参加となった経緯を伺う 3 議会と執行部(市長)との二元代表制についての市長の見解を伺う
4	分割	安井 直明	1 生活保護行政の現状と扶養義務について 2 6・9月議会に続き、原発撤退の声は日増しに大きくなっている。自然エネルギーへの転換のためにも太陽光発電など市の独自補助をすべきだ。 3 成年後見人制度の後見人として、市長も参加できるように 4 国庫補助された就学援助費の拡大を
5	分割	田中 新人	1 魅力ある農業・強い農業の取り組みと推進について 2 地球温暖化対策税(環境税)について 3 今後の道路行政について
6	分割	森嶋 克巳	1 市職員が使うノートパソコンについて 2 甲賀市での再生可能エネルギー等の活用について
7	分割	冊 藤男	1 パブリックコメントについて 2 自治振興会と地域情報基盤の教育への活用について
8	分割	中西 弥兵衛	1 本市の危機管理体制から考える横断的な組織連携体制について伺う 2 第1回甲賀市観光ビジネスメッセの開催結果について伺う
9	分割	橋本 律子	1 若者への就労・自立支援 2 これからの文化行政
10	分割	谷永 兼二	1 再生可能エネルギー導入促進について 2 学校施設の維持補修について 3 市有施設の命名権(ネーミングライツ)の導入について
11	分割	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりについて 2 疾病予防と医療費適正化の取り組みについて 3 教育問題について
12	分割	小西喜代次	1 子どもの通院医療費無料化 対象枠の拡大を 2 水口と信楽の給食センターの整備は十分な検討を 3 同和行政終結へ 一部運動団体との関係を抜本的に見直せ 4 信楽高原鉄道の上下分離方式について 5 台風被害に際しての納得できる災害復旧を
13	分割	的場 計利	1 マニフェスト「育てる」の学校と教育委員会との連携強化について
14	分割	橋本 恒典	1 市の子育て支援と児童虐待防止について 2 市内の児童養護施設について



### 一般質問

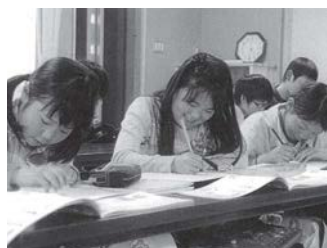
**問** パブリックコメント、ブログ、Twitter、Facebookなどの活用としてはどうか。

**政策監** 意見を寄せて頂く方法として、ソーシャルメディアを利用することも、その一つであると認識しているが、今のところパブリックコメントの手法としてそぐわない。急速に発展していくソーシャルメディアを利用した意見収集や情報発信の活用は検証・検討したいと考えている。

**問** 自治振興会で、放課後児童クラブ的な取り組みや、地域情報基盤を、教育の分野で活用出来ないか。

**教育長** 豊後高田市の「テレビ寺子屋講座」の放送により、家にながら、また地域あげ

**総合政策部長** 自治振興会で地域における教育力を高める活動ができる取り組み、情報化と地域の教育力との結びつきには積極的な推進に努める。



大分県豊後高田市 学びの21世紀塾

藤男 議員

**Q** パブリックコメントなどの活用は

**A** 検討・検証したい

**問** 11月に開催された第1回甲賀市観光ビジネスメッセの結果について、今回の評価と今後の課題はどうか。

**産業経済部長** 新たな甲賀の特色や観光地、名物料理等に触れることができた反面、開催場所や交通手段などに対する指摘があった。何よりも上海からの招聘は海外誘客の大きな糸口となったと思う。

**問** 次年度以降における観光客誘客に向けた取り組みは。

**産業経済部長** 今後とも継続した取り組みが必要とされる中、甲賀



観光ビジネスメッセ

**Q** 中国での商品づくりの課題は

**A** 体験ツアーの商品化に取り組む

中西弥兵衛 議員

**問** 中国からの招聘による成果はどうか。

**産業経済部長** 上海からのメディア関係者7名は農家民泊や陶芸体験、手裏剣投げに大変関心を示され中国からの体験ツアーの商品化にも大きな可能性が生まれてきたものと思っ

橋本律子 議員

**Q** 若者への就労・自立支援づくりは

**A** 相談体制の強化と機関連携を図る

**問** 本市の小・中の不登校の実態と義務教育後の相談・支援体制は。

**教育長** 年間30日以上欠席した児童生徒は小計88人で減少傾向。義務教育後の支援体制は中高間で連絡を取り合い課題解決を目指している。また不登校をなくすための学校環境づくりや、家庭や関係機関との連携を図ることが重要と認識する。

**問** 自立できない若者への相談支援体制づくり強化やフリースクール等、就労支援システム構築が必要だが。

**教育長** 不登校やニートの状態にある若者が、学校復帰を目指したり就職活動に取り組める支援体制の構築に向け、市が今後検討する支援



身近な支援体制

**問** 就職体験や職業訓練等の応援体制構築は。

**産業経済部長** 社会体験を積み取り、就業への動機付けに繋げるよう国・県・関係機関等との連携で働きかけていきたい。

### 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**Q** 太陽光への補助を

安井直明 議員

**A** 考えていない

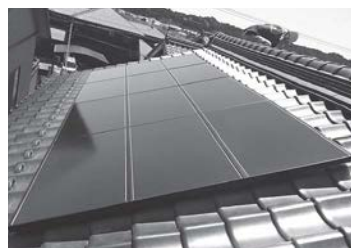
**問** 生活保護行政の現状と扶養義務は。

**市長** 市も増加傾向にある。見直し等については、国や政府の間で議論や検討が行われており、市は、国の動向を注視していく。

**福祉事務所長** 扶養義務者の存否を確認し扶養できるかどうか照会している。

**問** 原発撤退の声は日増しに大きくなっていく。自然エネルギーへの転換のためにも太陽光発電など市の独自補助をすべき。

**市長** 国県の補助制度や設置費用の低下、余



工事中の個人向け太陽光発電

**問** 成年後見人制度の後見人として市長も参加できるように。

**市長** 市長がなることは適当でないが、法人を核として検討を行っている。

**問** 国庫補助された就学援助費の拡大を。

**教育長** 要保護にはPTA会費等生保の教育費の中で措置されている。準要保護の費目の追加は考えていない。

剩電力買取制度などにより、太陽光が導入しやすい環境が整ってきつつあり、普及率が高くなっていくことから、市の独自補助は考えていない。公共施設への拡大を図っていく。

田中新人 議員

**Q** 戸別所得補償制度の効果は

**A** 農業所得確保に一定の助助力

**問** 平成25年産の営農計画について伺う。

**産業経済部長** 平成25年産米の生産目標数量面積は今年産とほぼ同じ面積の2,772haで年内に各集落に配分する。

**問** 担い手への農地集積面積は。

**産業経済部長** 本年10月現在1,500haで、全体の水田に占める割合は37.2%である。

**問** 甲賀市の担い手育成目標と農業所得目標について伺う。

**産業経済部長** 個人経営体、集落営農経営ともに主たる農業従事者一人当たりの所得目標は、他産業従事者並みの500万円程度としている。

**問** 通学路の安全対策を含めた道づくりの将来性について伺う。

**建設部長** 児童・生徒が登下校する通学路の緊急合同点検を行った結果、市道においては27カ所の危険箇所について、グリーンベルトや区画線による歩道幅員の確保等安全対策工事を緊急対応した。危険箇所の一つである柏木小学校前の市道泉・西林口幹線にグリーンベルト、区画線の設置、横断歩道の設置する計画を進めている。



**Q** 太陽光発電装置への支援策は

森嶋克己 議員

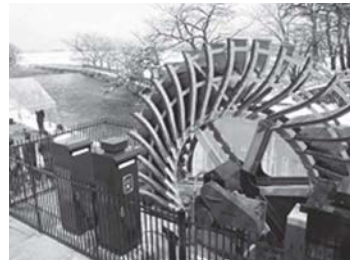
**A** 支援策は考えていない

**問** 太陽光発電装置を設置する家庭への支援策を取り組むべきでは。

**市長** 国や県が太陽光発電システムの低価格化を誘導する補助金を交付し、余剰電力買取制度などにより導入しやすい環境が整ってきているので支援策は考えていない。

**問** 再生可能エネルギー事業で脱原発につながるのでは。

**市長** 省エネの推進と地域エネルギーの導入を進めることが重要と考える。小水力やその他の地域エネルギーの導入を進める。



小水力発電所 (富山市)

**問** パソコンにリプレオフィスを採用後、互換性や利便性、職員のモチベーションなどの実態調査は。

**総合政策部長** 各部署から選出のOAリーダー会議では、互換性が認められないことが課題になっている。利便性でマイクロソフトとの使い勝手で問題視しているが、モチベーションには影響ない。

**問** 対外的な機関への不都合はないか。

**総合政策部長** 一部支障があるのでマイクロソフトオフィスに適宜追加配備している。今後、利用検証を継続し検討の場を設ける。





### 一般質問

**問** 文科科学省が半年間のいじめ認知件数を発表した。最多は鹿児島県で、約1万5千件に達している。いじめ等の事案については、学年部会、生徒指導部会等に対処、一人で背負い込むことのないようにしている。



**問** 文部科学省が半年間のいじめ認知件数を発表した。最多は鹿児島県で、約1万5千件に達している。いじめ等の事案については、学年部会、生徒指導部会等に対処、一人で背負い込むことのないようにしている。

**問** 文部科学省が半年間のいじめ認知件数を発表した。最多は鹿児島県で、約1万5千件に達している。いじめ等の事案については、学年部会、生徒指導部会等に対処、一人で背負い込むことのないようにしている。

#### 議員 利計場の

**A** 縦・横・斜め三者の力が肝要

**Q** 課題解決に「斜め」の支援活用を

**問** 大津市立中学校いじめ死亡事件でも、学校・教師と教育委員会の連携の希薄が言われているが、有能と言われている先生ほど、問題が発生した時、解決に一生懸命の余り、一人で背負い込んでしまわないか心配している。

**問** 大津市立中学校いじめ死亡事件でも、学校・教師と教育委員会の連携の希薄が言われているが、有能と言われている先生ほど、問題が発生した時、解決に一生懸命の余り、一人で背負い込んでしまわないか心配している。

**問** 大津市立中学校いじめ死亡事件でも、学校・教師と教育委員会の連携の希薄が言われているが、有能と言われている先生ほど、問題が発生した時、解決に一生懸命の余り、一人で背負い込んでしまわないか心配している。

#### 議員 和行政終

**A** 同和行政終結にむけ、一部運動団体との関係の抜本的な見直しを。

**Q** 同和行政終結にむけ、一部運動団体との関係の抜本的な見直しを。

**問** 同和行政終結にむけ、一部運動団体との関係の抜本的な見直しを。

#### 議員 小西喜代次

**A** 同和行政終結にむけ、一部運動団体との関係の抜本的な見直しを。

**Q** 同和行政終結にむけ、一部運動団体との関係の抜本的な見直しを。

**問** 同和行政終結にむけ、一部運動団体との関係の抜本的な見直しを。

### 議会活動報告 (10月~12月)

10月 2日	広報特別委員会	編集会議	11月 14日	議会運営委員会		12月 11日	本会議	一般質問、議案上程
10月 17日	広報特別委員会	徳島県吉野川市 来庁	11月 21日	本会議	代表質問	12月 12日	民生常任委員会	
10月 19日	文教常任委員会		11月 28日	議会運営委員会	議案上程・説明		文教常任委員会	
10月 23日	産業建設常任委員会		12月 5日	本会議	議案審議・採決・付託	12月 17日	産業建設常任委員会	
10月 25日	議会運営委員会		12月 7日	本会議	一般質問	12月 20日	本会議	議案審議・採決
10月 29日	議会運営委員会		12月 10日	本会議	一般質問	12月 21日	広報特別委員会	編集会議
11月 2日	本会議	編集会議				12月 27日	総務常任委員会	
11月 6日	広報特別委員会	編集会議					交通対策特別委員会	
11月 7日	環境対策特別委員会	富山市、勝山市					広報特別委員会	編集会議
11月 12日	行政視察							
	地域情報化対策特別委員会							



児童養護施設「鹿深の家」

#### 議員 橋本恒典

**A** 児童虐待防止の取り組みと相談体制は。

**Q** 児童虐待防止の取り組みと相談体制は。

**問** 児童虐待防止の取り組みと相談体制は。

#### 議員 加藤和孝

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 谷永兼二

**A** 学校施設の維持補修を

**Q** 学校施設の維持補修を

**問** 学校施設の維持補修を

#### 議員 小西喜代次

**A** 教育環境の整備を引き続き図る

**Q** 教育環境の整備を引き続き図る

**問** 教育環境の整備を引き続き図る

**問** 教育環境の整備を引き続き図る

### 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

#### 議員 谷永兼二

**A** 学校施設の維持補修を

**Q** 学校施設の維持補修を



改修が待たれるトイレ

**問** 過去3年の修繕要望と実施件数は。

**問** 過去3年の修繕要望と実施件数は。

**問** 過去3年の修繕要望と実施件数は。

**問** 過去3年の修繕要望と実施件数は。

**問** 過去3年の修繕要望と実施件数は。

**問** 過去3年の修繕要望と実施件数は。

**問** 過去3年の修繕要望と実施件数は。

**問** 過去3年の修繕要望と実施件数は。

#### 議員 加藤和孝

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

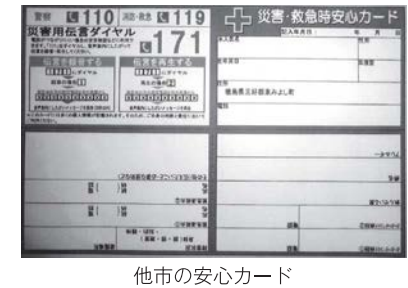
**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を



他市の安心カード

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**問** 防災井戸の認定登録制度の創設を

#### 議員 小西喜代次

**A** 防災井戸の認定登録制度の創設を

**Q** 防災井戸の認定登録制度の創設を



### 組合議会の動き

#### 甲賀広域行政組合 議会

#### 第2回臨時会開催

平成24年12月25日、甲賀広域行政組合第2回臨時会が開催され、条例の一部改正1件、規約の変更2件、補正予算(第2号)が提出され、いずれも全員賛成により可決されました。

#### 《可決された議案》

- ◎甲賀広域行政組合職員共済に関する条例の一部改正をする条例の制定について
- ◎滋賀県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び滋賀県市町村職員手当組合規約の変更について

◎滋賀県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増



防火服が一新される

加及び滋賀県市町村職員退職手当組合規約の変更について  
 ◎平成24年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算(第2号)について  
 歳入歳出それぞれ3千33万円を減額し、総額30億8、419万円とする。  
 全員協議会において消防力整備基本計画改定の説明と防火服一新、緊急消防援助隊用放射線防護資機材、高規格救急自動車の説明を受けました。(文責 野田卓治)

#### 公立甲賀病院 議会

#### 条例改正・医療事故賠償等の審議 完成間近の新病院視察

平成24年12月25日、病院組合の第2回臨時会が開催されました。4議案の提案があり、議案15号は組合職員の共済制度に関して一部条例改正を求めているもの、議案16号と17号は関連があり、職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少並びに増加に関すること、組合規約の変更について議決を求めているもので3議案とも質疑の後全員一致で可決されました。



議案18号は損害賠償の額を定めるもので、医療事故の和解により34、576、004円の賠償額が提示されました。  
 職員2名が質問に立ち、◎全医療職員の医療事故防止の徹底は◎医療事故と認められた部分

は◎多額の賠償費を支払う根拠は◎新甲賀病院の役割と高度医療を進める姿勢等について管理者及び病院長の答弁を求めた後、可決されました。その後現地向き、新病院の内部完成状況を見学し、更に地元の住民組織からの要望対策で、入院棟の南、東側に面する病室の窓及び廊下の掃き出し口位置から近隣の住宅が丸見えになる状況を視察し早急な対応の必要を確認しました。(文責 小松正人)

#### 広報紙コンクール「優良賞」受賞

平成24年12月3日、毎日新聞社主催第25回近畿市町村広報紙コンクールにおいて優良賞を受賞しました。  
 今回の受賞は、平成19年の優良賞、21年の奨励賞、23年の優秀賞に続くものです。



#### 葛原章年議員が表彰 岩田孝之議員に感謝状

平成24年度において葛原章年議員が市議会議員として、通算10年以上の任期を2分の1に換算して職されたことに對して特別表彰されました。



また、岩田孝之前議長が、滋賀県市議会議長会より感謝状を受けられました。



### 特別委員会の動き

#### 環境対策特別委員会

#### 環境モデル都市・富山市 ゴミゼロ対策・勝山市 先進的取り組みを学ぶ



富山市にて研修

環境対策特別委員会は11月6日と7日の両日、環境モデル都市として多面的に活動する富山市とゴミゼロ対策・きれいなまちづくり運動に取り組み福井県勝山市を訪れ貴重な取り組みを学びました。  
 富山市では、持続可能な再生自然エネルギーの取り組みを学ぶことが主眼でしたが、説明の中では衰退する公共交通と自家用車保有台数を削減するために、CO<sub>2</sub>削減とあわせて「ライ

トレール」の整備や「自転車市民共同利用システム」など全国的に注目される取り組みに心がけ、新エネルギーの取り組みでは、市有地に大規模な太陽光発電施設を北陸電力が設置、また一般家庭の太陽光発電設置補助も原発事故以降緊急に申請が伸び、補正で対応していることも紹介されました。  
 勝山市は、市民一人一人が「ゴミを捨てない」と市民の意識を高め、環境保全に自主的に取り組み地域を広げています。その成果が実って「世界で9番目に美しい街にランクされた」という報告には驚きました。「報告書」にまとめ

#### 交通対策特別委員会

#### 信楽高原鉄道 再生ビジョン等3件の調査



信楽高原鉄道サンタ列車

交通対策特別委員会は12月21日、2つの案件について調査しました。  
 ①公共交通活性化によるまちづくり計画は「協議会」を立ち上げ検討作業が進行中です。説明では、年度内の計画策定を目的に、いつでもどこへでも交通移動できるような交通網の充実、自動車に頼らなくても可能な交通環境の整備が課題です。  
 ②は信楽高原鉄道沿線公共交通との連携計画を甲賀市が策定し、鉄道事業者と共に持続的運行体制の基本方針を実行するもので、

引き続き委員会協議会を開き、高原鉄道の再生ビジョンの調査を行いました。  
 ○県との特定調停の見通しは  
 ○県の事業支援は大丈夫か  
 ○上下分離方式は市の負担増にならないか  
 ○観光誘客の具体策は  
 ○行き違い線の復活による利用客の増加は  
 ○運転業務員の確保など質疑が交わされました。

#### 地域情報化対策特別委員会

#### 事業進捗状況について問う



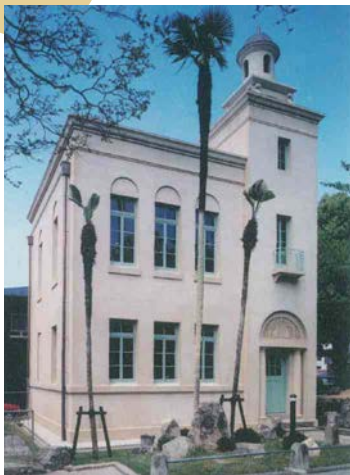
地域情報化基盤整備事業については、平成24年12月から水口や信楽の一部から放送を開始されましたが、委員会において執行部と株式会社あいコムこうかに出席を求め、事業の説明や工事の進捗状況について説明を受けました。  
 市内各地域での説明会は、250回行い理解を求めているが、まだまだ全ての市民に納得いただけていないのが現状であり、ご理解いただくよう努める。

音声告知の宅内調査から引き込み工事は株式会社あいコムこうかとの連携が必要で、地元電気店等の協力を得て調査・工事を行なっている。工事は平成25年2月末までに7、600件を完了予定。またテレビ、インターネットの契約は1、000件程度で、目標を10、000件で見込んでいます。  
 共聴施設の対応については、NHKや総務省とも協議しており、個別対応で市とあいコムこうかと進めているとのことでした。  
 他に契約の営業や宅内調査、宅内工事などの進め方について質問がありました。あいコムこうかより営業・技術チームの編成を行い鋭意努力をしているとの報告を受けました。

# ええとこ “こうか再発見” Vol.5

ええとこ“こうか再発見”5回目は、近江兄弟社創業者であるヴォーリス氏が設計された、数少ない甲賀市内の建築物をご紹介します。

## 水口旧図書館(水口町本町)



大阪の実業家の井上好三郎氏が故郷水口に図書館の建築を思い立ち昭和3年に竣工。玄関は両脇にローマ風の円柱、上部は壁面を半円アーチ状にくぼめ、書物と燭台の浮き彫りにした「知の館」にふさわしいデザインで「珠玉の小箱」と呼ばれています。

## 水口キリスト教会礼拝堂 (水口町城東)



昭和5年に建てられた礼拝堂で木造平屋建てのモルタル仕上げで、住宅建築を基調としたシンプルな外観は、その門柱と共に宿場の町並みに新しい風をもたらしています。

# 甲賀のヴォーリス建築

## 旧滋賀銀行甲南支店(甲南町寺庄)

大正14年(1925)滋賀銀行の前身の寺庄銀行本店時代に建設されたもので鉄筋コンクリート造り2階建てイオニア式の柱を前面に構えた古典様式です。現在は個人の所有となっています。



## 編集後記

◆お正月は家族で過ごされた方も多かったと思いますが、お正月の子どもの遊びといえば昔は凧あげやコマ回しでしたが最近は大きく様変わりしています。今も保育園などでは凧を作ったりコマ回しをしたりしているところも多いようです。

冬のスポーツといえばスキーやスケートと並んでマラソンや駅伝が各地で行われます。近年のマラソンブームもあり、あいの土山マラソンも参加者が増えています。年末の全国中学駅伝には甲賀市から男子は城山中学校、女子は甲南中学校が出場し、年明けの全国女子駅伝でも活躍してくれました。

こうか市議会だよりは今回も近畿市町村広報コンクールで優良賞をいただきました。今年からは平成で毎号脱皮しながらより良い議会広報を目指していきます。

(広報特別委員 橋本恒典)

## 3月議会の予定

- |    |     |               |
|----|-----|---------------|
| 2月 | 21日 | 本会議(第1日)      |
|    | 22日 | 本会議(第2日)      |
| 3月 | 1日  | 本会議(第3日) 代表質問 |
|    | 4日  | 本会議(第4日)      |
|    | 6日  | 本会議(第5日) 一般質問 |
|    | 7日  | 本会議(第6日) 一般質問 |
|    | 8日  | 本会議(第7日) 一般質問 |
|    | 11日 | 委員会           |
|    | 12日 | 委員会(予備日)      |
|    | 13日 | 委員会           |
|    | 14日 | 委員会           |
|    | 15日 | 委員会           |
|    | 18日 | 委員会           |
|    | 19日 | 委員会(予備日)      |
|    | 21日 | 委員会(予備日)      |
|    | 25日 | 本会議(第8日)      |

## カメラ



今年も甲賀市成人式が成人の日の前日、1月13日にあいこうか市民ホールで開催され、1,026人が成人を迎えました。当日は華やかな中にも厳かな雰囲気の中で第1部の式典が行われ、第2部の記念イベントは引き続き市民ホールで、その後は各地域で中学校ごとに行われました。

開催に向けて頑張っていたいただいた実行委員の皆さんに敬意を表するとともに、若さあふれる新成人の今後の活躍に期待したいものです。(写真撮影：橋本恒典委員)